



気をつけよう！感染症（令和8年第9号）

令和8年9月発行
松本市保健所保健予防課

「結核」を正しく知って予防と早期発見に努めましょう
～9月24日から9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間です～

結核は、結核菌という細菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です。

【感染経路】

- ・菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみの「しぶき」によって、菌が空気中に飛び散り、周囲の人が直接吸い込んで肺の奥深くに入り込むことで感染します。
- ・感染してもすべての人が発病するわけではありません。感染から長い期間を経て、発病することもあります。

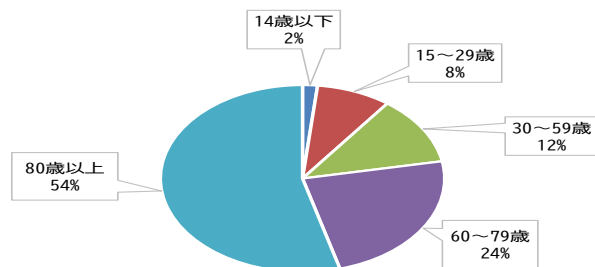


【症状】

- ・結核菌は主に肺の内部で増えるため、長引く咳や痰、微熱・だるさ・食欲不振など風邪のような症状を呈することが多いです。また、肺以外の臓器にも影響を及ぼすことがあります。

【松本市の状況】

活動性結核患者（2021～2025年）



※活動性結核とは「結核のため治療を必要とする状態」です。

- ・年代別にみると、80歳以上の患者が半数以上を占めています。高齢者は典型的な症状が現れないこともあり、本人や周囲が気づかないまま、病状が進行してしまうことがあります。

【結核の予防・早期発見のためにできること】

① 健康づくり

バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動をして、免疫力を高めましょう。結核に感染しても発病を抑えることができます。

② 胸部レントゲン検査

65歳以上の方は「感染症法」で1年に1回の結核健康診断（胸部レントゲン検査）が義務付けられています。異常が見つかったら必ず精密検査も受けましょう。

③ 早期受診

咳や痰が2週間以上続く場合は、必ず受診してください。
結核は治療法が確立しているので、早期に発見できれば治る感染症です。

④ ワクチン接種

BCG ワクチンを1歳の誕生日前日までに接種しましょう。
（標準的な接種時期は生後5～8か月の間です。）

20世紀以降のパンデミックはすべて呼吸器感染症です。
マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の基本的な感染対策を日頃から心がけましょう。



詳しくは松本市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1562.html>

